

平成 30 年 度

# 事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

社会福祉法人 海陽会  
あすなろクリーナーズ

平成30年度事業経過報告書

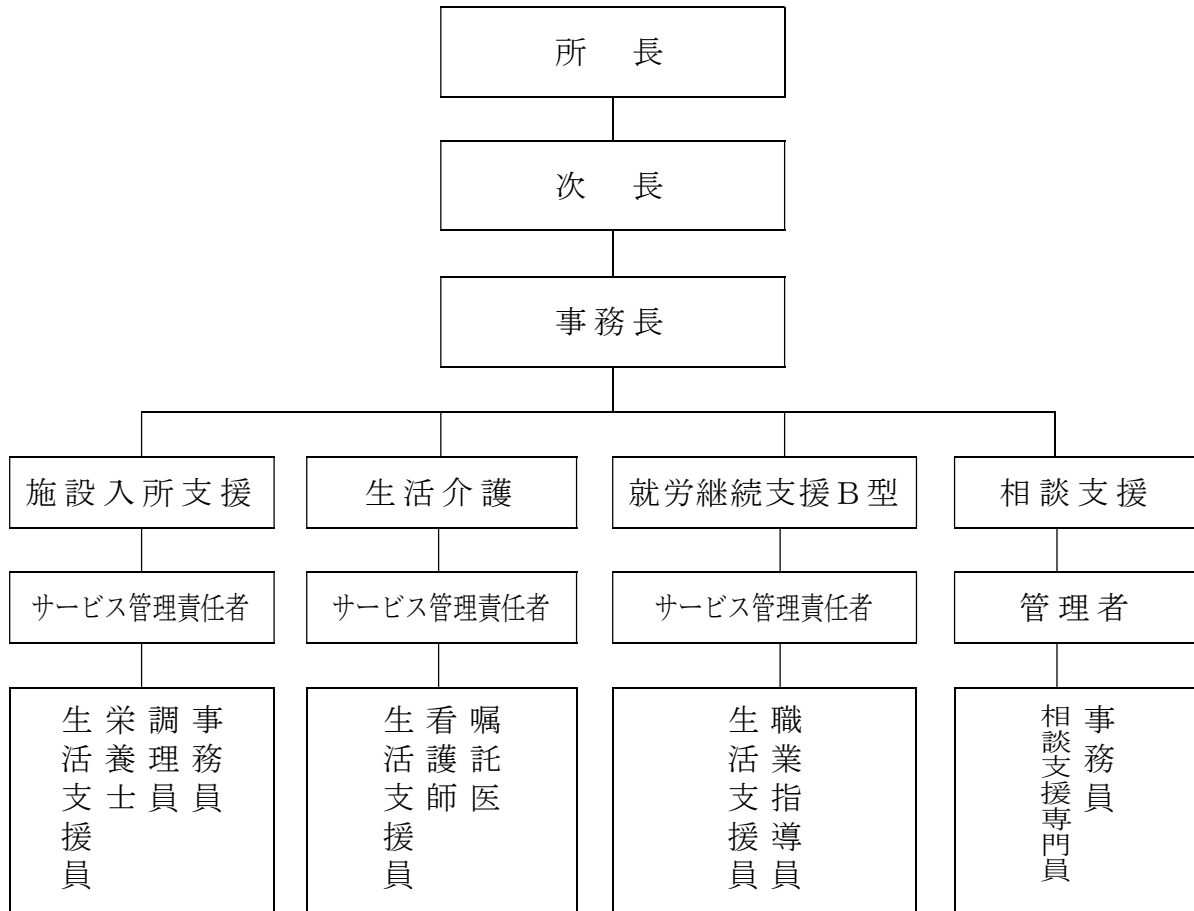
社会福祉法人 海陽会

月	日	記 事
4	1	開設記念日・辞令交付
	19	理事長・専務理事決裁
5	17	理事長・専務理事決裁
	21	青森県社会福祉法人経営者協議会総会 福沢理事出席
	30	監査会（大塚監事、小比類巻監事）専務理事立ち合い
6	8	理事会 山本理事長他7名出席
		第1号 平成29年度事業報告及びサービス評価の結果並びに職員・臨時職員の任免について
		第2号 平成29年度資金収支決算報告並びに資産総額の変更登記について
		第3号 平成30年度資金収支第一次補正予算(案)について
		報告1 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について
	19	理事長・専務理事決裁
	26	評議員会 木村春枝氏他7名出席
		第1号 平成29年度事業報告及びサービス評価の結果並びに職員・臨時職員の任免について
		第2号 平成29年度資金収支決算報告並びに資産総額の変更登記について
		第3号 平成30年度資金収支第一次補正予算(案)について
報告1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について		
7	9	障害福祉サービス事業者に係る実地指導（東青地域県民局監査指導課 赤坂主幹、成田主査、飯田主事、奈良岡専門員）
		大塚監事、小比類巻監事、専務理事立ち合い
	19	理事長・専務理事決裁
8	17	理事長・専務理事決裁

月	日	記 事
9	1 9	理事長・専務理事決裁
1 0	1 7	理事長・専務理事決裁
1 1	1 6	理事長・専務理事決裁
1 2	1 9	理事長・専務理事決裁
1	1 5	理事長・専務理事決裁
	1 5	理事会 山本理事長他 7 名出席
		第1号 平成30年度資金収支第二次補正予算(案)について
		報告1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
2	1 9	理事長・専務理事決裁
3	1 8	理事長・専務理事決裁
	1 8	理事会 会山本理事長他 7 名出席
		第1号 平成30年度資金収支第三次補正予算(案)について
		第2号 平成31年度事業計画(案)について
		第3号 平成31年度資金収支当初予算(案)について
	報告1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	
3 0	山本昭三理事長死去	

## I 施設関係について

### 1, 組織図



### 2, 事業別人員

職別区分	職 員	臨時職員	利用者	合 計	摘 要
施設入所	4	8	40	52	
継続B型	4	18	40	62	通所者21名
生活介護	6 (1)	4	20	30 (1)	通所者 2名
相談支援	1	1		2	
計	15 (1)	31	60	106 (1)	( ) 嘱託医

職務分担表

職 氏 名	分 担 業 務
所 長（管理者） 福 沢 和 彦	法人・施設運営管理の総括に関する事 1, 法人事務に関する事 1, 理事会に関する事 1, 財産管理及び公印の保守に関する事 1, 事業計画及び予算に関する事 1, 事業報告及び決算に関する事 1, 補助金に関する事 1, 諸規程・諸契約締結事務に関する事 1, 施設との連絡調整に関する事 1, 庶務・経理事務全般に関する事 1, 事業計画及び予算の執行に関する事 1, 関係行政機関・団体等との連絡に関する事 1, 職員の担当業務の調整及び指導に関する事 1, 出納及び財産の管理事務に関する事 1, 物品購入及び受払いに関する事 1, 職員等の福利厚生に関する事 1, 法人との連絡調整に関する事 1, その他、各規程に定められた事項
次 長 小 向 竜 一 事務長 竹 内 由 紀 子 生活支援主任 (サービス管理責任者) 杉 山 智 美 ボイラー技士 (サービス管理責任者) 横 濱 潔 彦	施設運営管理に関する事 1, 庶務・経理事務に関する事 1, 介護給付費等の請求精算に関する事 1, 職員等の給与事務処理に関する事 1, 事務改善・企画調査に関する事 1, 文書の收受及び発送に関する事 1, 旅費の概算・精算事務に関する事 1, 職員勤務表作成事務に関する事 1, 公用車の運行管理に関する事 1, 防災計画に関する事 1, 宿日直・警備及び火気取締りの総括に関する事 1, ボイラーの管理に関する事 1, 建物及び諸付帯設備の保守管理並びに営繕に関する事 1, 環境整備及び環境の整理整頓に関する事 1, 各規程に定められた事項 1, その他所長が指示する事項

職 氏 名	分 担 業 務
共 通 事 項	1, 利用者の給食業務に関すること 1, 厨房及び食堂の管理に関すること
栄養士 山 村 安 子  調理主任 米 内 恵 美  調理員 柴 崎 岩 見 大 石 ゆき子 佐 藤 幸 子 杉 山 ルミ子	給食の総括に関すること 1, 献立作成及び栄養管理に関すること 1, 給食の衛生管理に関すること 1, 給食の事務管理に関すること 1, 利用者の嗜好調査及び栄養調理の研究指導に関すること 1, 給食職員の衛生（検便等）に関すること 1, 食品類の購入・検収・受払いに関すること 1, 食品類の管理に関すること 1, 調理・配膳に関すること 1, 厨房及び食堂の衛生管理に関すること 1, 給食用食器及び調理器具の衛生管理に関すること 1, 厨房・食品庫・食堂及び休憩室の清掃並びに整理整頓に関する こと 1, その他所長が指示する事項

職 氏 名	分 担 業 務
共 通 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>1, 就労継続支援B型事業に関する事</li> <li>1, 作業場の衛生・安全管理に関する事</li> <li>1, 機器の保守点検及び整理整頓に関する事</li> <li>1, 作業方法の改善及び改良開発に関する事</li> </ul>
(サービス管理責任者) 横 濱 潔 彦 就労継続支援B型 担当 職業指導員 小 向 竜 一 辻 村 和 孝 佐 藤 茂 田 中 幸 雄 米 田 聖 矢 生活支援員 山 田 と の 向 井 香 奈 子	作業及び訓練の総括に関する事 <ul style="list-style-type: none"> <li>1, 作業の計画及び工程管理に関する事</li> <li>1, 工賃の評価算定に関する事</li> <li>1, 利用者の作業分担に関する事</li> <li>1, 指導助手の総括に関する事</li> <li>1, 洗濯物供給事務所との連絡調整に関する事</li> <li>1, 製品の品質管理及び検査出荷に関する事</li> <li>1, 作業場内の清掃及び整理整頓に関する事</li> <li>1, 原材料・機材の調達及び保管管理（受払）に関する事</li> <li>1, 受注の開拓に関する事</li> <li>1, 関係事務処理及び納品・請求事務に関する事</li> <li>1, 技術向上の研究及び資料の収集に関する事</li> <li>1, 他部所との連絡調整に関する事</li> <li>1, 利用者の指導及び処遇記録の整理に関する事</li> <li>1, 各規程に定められた事項</li> <li>1, その他所長が指示する事項</li> </ul>

職 氏 名	分 担 業 務
共 通 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>1, 生活介護事業に関する事</li> <li>1, 利用者の介護及び助言・指導に関する事</li> <li>1, 各居室等の整理整頓に関する事</li> <li>1, 利用者の所持金品等の把握と指導に関する事</li> </ul>
(サービス管理責任者) 生活支援主任 杉 山 智 美 生活支援員 佐 藤 優 希 木 村 勇 紀 瀬 川 ゆりか 平 尾 瞭 太 小 森 仁 美 大 西 由香里 熊 沢 たまえ 秋 戸 ぬえ子 阿 部 里 奈 夜勤専従 鹿 内 幸 和 田 千恵子 沼 澤 久 子	利用者の生活支援の総括に関する事 1, 関係機関との連絡調整に関する事 1, 入退所やその他異動変更手続きに関する事 1, 装具・年金その他の更生援護の申請に関する事 1, 防災訓練及び避難訓練の実施に関する事 1, 利用者の私財管理に関する事 1, 利用者の教養及び余暇活動に関する事 1, 利用者を主体とした行事・催物に関する事 1, 家族・ボランティアとの連絡調整に関する事 1, 総合診断会議・生活支援会議に関する事 1, 利用者支援計画に関する事 1, 実習生の受入れ・指導に関する事 1, 自立生活に向けた取り組みに関する事 1, 他部所との連絡調整に関する事 1, 生活支援員の勤務表作成に関する事 1, 日常生活動作全般の介護に関する事 1, 生活環境の清掃及び整理整頓に関する事 1, 支援記録の整備に関する事 1, クラブ活動及び行事に関する事 1, 利用者の金品出納に関する事 1, 利用者の貸与品・支給品に関する事 1, 日用品の購入及び受払いに関する事 1, 例会・処遇記録等に関する事 1, その他所長が指示する事項



職 氏 名	分 担 業 務
共 通 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>1, 利用者の医療・看護に関すること</li> <li>1, 保健衛生及び保健指導に関すること</li> <li>1, 健康診断の計画・実施に関すること</li> <li>1, 機能訓練に関すること</li> <li>1, 利用者の介護及び訓練・指導に関すること</li> </ul>
医 師（嘱託） 中 里 紀 生  看護師 高 野 のり子	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者・職員・指導助手の医療全般に関すること</li> <li>1, 利用者の医療に関すること</li> <li>1, 利用者・職員・指導助手の健康管理に関すること</li> <li>1, 利用者の医療・看護の総括に関すること</li> <li>1, 利用者の保健指導及び健康管理に関すること</li> <li>1, 保険証に関すること</li> <li>1, 関係機関との連絡調整に関すること</li> <li>1, 看護記録及び関係書類の管理に関すること</li> <li>1, 薬品の購入及び保管管理（受払い）に関すること</li> <li>1, 職員・指導助手の健康管理に関すること</li> <li>1, その他所長の指示する事項</li> </ul>

職 氏 名	分 担 業 務
共 通 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>1, 指定計画相談支援に関する事</li> <li>1, 指定地域移行支援に関する事</li> <li>1, 指定地域定着支援に関する事</li> <li>1, 指定障害児相談支援に関する事</li> </ul>
相談支援事業 管理者 竹 内 由 紀 子  相談支援専門員 沢 居 昌 毅  事務員 阿 部 里 奈	相談支援事業の全般に関する事 <ul style="list-style-type: none"> <li>1, サービスの提供方法についての説明に関する事</li> <li>1, 各支援のアセスメント実施に関する事</li> <li>1, サービス等利用計画（案）の作成に関する事</li> <li>1, サービス等利用計画の作成に関する事</li> <li>1, モニタリングの実施に関する事</li> <li>1, 地域移行支援計画の原案の作成に関する事</li> <li>1, 地域移行支援計画の作成に係る会議の開催に関する事</li> <li>1, 地域移行支援計画の作成に関する事</li> <li>1, 地域移行支援計画の変更に関する事</li> <li>1, 関係機関との連絡調整に関する事</li> <li>1, 地域定着支援台帳の作成に関する事</li> <li>1, 地域定着支援台帳の変更に関する事</li> <li>1, 障害児支援利用計画（案）の作成に関する事</li> <li>1, 障害児支援利用計画の作成に関する事</li> <li>1, 必要な支援・相談・助言等に関する事</li> <li>1, 利用者負担額等に係る管理に関する事</li> <li>1, 虐待防止のための措置に関する事</li> <li>1, 苦情解決に関する事</li> <li>1, 研修に関する事</li> <li>1, 勤務体制に関する事</li> <li>1, 利用者並びに家族の秘密保持に関する事</li> <li>1, 諸記録の整備に関する事</li> <li>1, その他所長の指示する事項</li> </ul>

## Ⅱ 部門別について

### 1, 管理部門

- ①集中管理体制を明確にした上での組織事務の確立を図るため、毎日朝礼を行い各部所の勤務状況を把握し指導した。
- ②文章・報告書（復命書）・図書等を系統別に分類し保管した。
- ③施設運営上必要な会議は下記のとおり行った。
  - ア、職員会議 毎月
  - イ、給食会議 7月・10月・1月・3月
  - ウ、モニタリング 9月・3月
  - エ、個別支援計画検討会議 6月・9月・12月・3月
  - オ、職業指導会議 毎月
  - カ、生活支援会議 毎月
- ④業務運営を円滑に進めるために、毎月資金状況を把握し資金計画を立てた。
- ⑤物品受払簿を記載させ、使用状況を把握した。
- ⑥OA機器を活用することにより、全体的な経理状況を明確に把握できた。
- ⑦施設内外清掃を行うことにより環境整備につとめた。
- ⑧利用者の喫食状況を見て、カロリー・栄養のバランス等の基本的なものを守り、毎日の食事が楽しめるように努めた。
  - ア、利用人員（平均 朝43名・昼62名・夕43名）
  - イ、変化のある献立表を毎日作成・掲示し次の食事が楽しめるようにした。
  - ウ、毎日市場に行き新鮮な給食材料を量目・価格等を吟味して無駄のない仕入れを行った。
  - エ、食中毒を避けるため白衣は毎日洗濯したものを着用し、まな板・食器類調理場の清掃を毎日行うとともに食器棚・冷凍庫・冷蔵庫・食品倉庫を随時清掃し不衛生にならないよう努めた。
  - オ、調理に対する知識・技術の向上・食中毒防止のための講習会・研修会等に積極的に参加させた。
- ⑨施設全体における安全で快適な生活環境と作業環境を維持するため、常に災害の発生に備え次の防災対策等を講じた。
  - ア、災害発生の誘因になる電気・ガス・ボイラー等の機械器具は、関係機関の指導に従い自主点検及び定期点検を下記のとおり実施した。

電気保安点検	（委託）～毎月1回	
浄化槽保守点検	（委託）～毎月4回	浄化槽自主点検～毎月4回
防災設備	（委託）～年2回	防災自主点検～毎月1回
ボイラー性能検査	（委託）～年1回	ボイラー自主点検～毎月1回
水質汚染濃度計量	（委託）～毎月1回	
第一種圧力容器	（委託）～年1回	
第二種圧力容器	（定期自主点検）～年1回	
ガス漏れ検査	（委託）～年1回	
法11条検査	（委託）～年1回	

- イ、火気取扱い責任者及び宿直者は、定められた時間に火気のある場所、特に煙草火に注意し火災発生の予防に努めた。
- ウ、消防署との連絡を密にし、総合避難訓練を年2回受けた。又、災害発生時的確な避難体制がとれるよう毎月訓練した。
- エ、積雪時においては非常口からの避難道確保のため除排雪を行い、避難に支障を来さないようにした。
- オ、職場の安全知識を高めるための講習会・研修会に参加させた。

## 2、福祉部門

- ①生活指導会議は毎月1回実施し、総合診断会議は随時行った。
- ②利用者について個別的に目的を設定し実施方法を方向付けている。
- ③利用者の適正能率等について、検討を加え系統的支援を行っている。
- ④利用者との話し合いを毎月行い、施設の運営に利用者の意志が反映できるようにしている。
- ⑤利用者に対し常時相談に応じている。
- ⑥レクリエーションを計画的に行っている。
- ⑦サークル活動を行っている。
- ⑧個人の身体状況を把握し、その都度病院受診・検査等を受けさせ健康管理に努めた。又、定期的に下記の検診等を実施した。
  - ア、レントゲン検診～4月・10月
  - イ、内科検診～6月・10月・2月
  - ウ、体力測定～10月
  - エ、HBS抗原検査～10月
  - オ、癌検診～10月
  - カ、体重・血圧測定～毎月
  - キ、諸治療・血圧測定～希望者及び必要な人に対しては毎日実施した。

## 3、作業部門

- ①利用者の工賃は、職業指導員が個々の作業状態を把握し工賃規程により支給している。
- ②始業前、朝礼を行い出欠状況の確認や安全衛生に関する注意をした。
- ③整理整頓に努め、作業しやすい環境を維持した。
- ④省エネ対策としてドレンをタンクに改修している。
- ⑤個々の希望する部所に部所替えした。
- ⑥本年度の売り上げ実績は117,632千円であった。

### Ⅲ 利用者状況調べ

#### 1, 肢体不自由別

平成 31 年 3 月 31 日現在

部位 \ 等級別	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級・他	計
片上肢	0	0	1	0	0	1
両上肢	1	1	0(1)	0	0	2( 1)
片下肢	0	0	0	2	1	3
両下肢	0	8	0	1	0	9
片上下肢	4	6	0(2)	0	0	10( 2)
片上肢・両下肢	0	0	0	0	0	0
両上肢・片下肢	0	1	0	0	0	1
四 肢	6	4(1)	0	1	0	11( 1)
視 覚	1	0	0	0	0	1
聴 覚	0	0(1)	0	0	0	0( 1)
愛 護	0	0	0	0	1(14)	1(14)
精 神	0	0(4)	0	0	0	0( 4)
計	12	20(6)	1(3)	4	2(14)	39(23)

( )通所者

#### 2, 障害原因別

平成 31 年 3 月 31 日現在

原因 \ 男女別	男	女	計
脳 性 麻 痺	9	10 (1)	19 ( 1)
脳血管障害後遺症	6 (2)	4	10 ( 2)
切 断	2	0	2
視 力 障 害	1	0	1
聴 力 障 害	0	0 (1)	0 ( 1)
知 的 障 害	1 (7)	0 (7)	1 (14)
精 神 障 害	0 (3)	0 (1)	0 ( 4)
そ の 他	3 (1)	3	6 ( 1)
計	22 (13)	17 (10)	39 (23)

( )通所者

## 3, 利用期間別

平成 31 年 3 月 31 日現在

期間 \ 男女別	男	女	計
1 年未満	0 (1)	0	0 (1)
1 年 ~ 3 年未満	0	1 (3)	1 (3)
3 年 ~ 5 年未満	1 (3)	0	1 (3)
5 年 ~ 7 年未満	1 (4)	1 (1)	2 (5)
7 年 ~ 10 年未満	2 (2)	0 (1)	2 (2)
10 年 ~ 15 年未満	2 (1)	1 (3)	3 (4)
15 年 ~ 20 年未満	1	1	2
20 年 ~ 25 年未満	1 (1)	3 (2)	4 (3)
25 年 ~ 30 年未満	2 (1)	3 (1)	5 (2)
30 年以上	12	7	19
計	22 (13)	17 (10)	39 (23)

( ) 通所者

## 4, 年 齡 別

平成 31 年 3 月 31 日現在

年齢 \ 男女別	男	女	計
20 歳未満	0	0	0
20 歳 ~ 29 歳	1 (4)	0 (2)	1 (6)
30 歳 ~ 39 歳	0 (2)	2 (4)	2 (6)
40 歳 ~ 49 歳	4 (3)	6 (2)	10 (5)
50 歳 ~ 59 歳	10 (2)	3 (2)	13 (4)
60 歳 ~ 69 歳	5 (2)	6	11 (2)
70 歳以上	2	0	2
計	22 (13)	17 (10)	39 (23)
合計年齢	1,223 (526)	910 (389)	2,133 (951)
平均年齢	55.59 (40.46)	53.53 (38.90)	54.69 (39.78)

( ) 通所者

## 5, 役 所 別

平成 31 年 3 月 31 日現在

役所(入所)	男	女	計	役所(入所)	男	女	計
青 森 市	3	2	5	野辺地町	2	2	4
八 戸 市	5	1	6	七 戸 町	1	0	1
五所川原市	1	0	1	六 戸 町	1	0	1
十 和 田 市	3	2	5	横 浜 町	0	1	1
三 沢 市	1	0	1	東 北 町	3	2	5
む つ 市	0	2	2	南 部 町	0	1	1
平 内 町	1	0	1	階 上 町	0	1	1
外ヶ浜町	0	1	1				
鱒ヶ沢町	1	0	1				
深 浦 町	0	1	1				
鶴 田 町	0	1	1				
				計	2 2	1 7	3 9

役所(通所)	男	女	計	役所(通所)	男	女	計
十和田市	2	0	2	東 北 町	1	0	1
平 内 町	1	0	1	六ヶ所村	1	0	1
野辺地町	6	1 0	1 6				
七 戸 町	2	0	2	計	1 3	1 0	2 3

## 6, 年金等受給状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

年 金	入所	通所	計	年金等	入所	通所	計
基礎年金 1 級	2 0	3	2 3	厚 生 年 金	1	0	1
基礎年金 2 級	1 0	1 7	2 7	生 活 保 護	4	3	7
船員・労災	1	0	1	計	3 6	2 3	5 9

## IV 平成30年度事業経過報告書

あすなろクリーナース

月	処 遇 ・ 行 事	研 修
4 月	2 開設記念昼食会 3 利用者との例会 5 レントゲン検診 21 お花見(十和田中央公園) 24 ストレージタンク検査 26 避難訓練 26 体重・血圧測定 28 お花見昼食会	23 社会福祉法人のための決算実務セミナー 竹内
5 月	7 利用者との例会 12 外庭大掃除 24 体重・血圧測定 25 避難訓練 31 給食施設栄養管理巡回指導	15 「青森しあわせネットワーク」活動説明会 福沢 19 青森県クリーニング青年部総会 福沢・小向 20 青森県クリーニング組合総会 福沢・小向 22 社会福祉施設新任職員研修 平尾 25 「青森しあわせネットワーク」活動説明会 竹内 31 東北地区セルフ協総会 福沢
6 月	5 利用者との例会 11 青森明の星短大保育実習(6/23迄) 11 消防立入検査(地下タンク) 27 総合避難訓練 27 内科検診 28 体重・血圧測定	8 上北地域自立相談支援ネットワーク会議 沢居 11 青森県型地域共生社会実現に向けた福祉増進シンポジウム 福沢 21 障害者就業・生活支援センターみさわ第1回事業連絡会議 沢居 25 社会福祉法人指導監査対策セミナー 福沢 26 青森県セルフ協総会 福沢 27 食中毒予防に係る食品衛生及び給食施設栄養管理指導事業研修会 杉山
7 月	3 利用者との例会 15 野辺地町花火大会見物 25 体重・血圧測定 26 避難訓練	12 全国セルフ協総合研究大会(13迄) 福沢・杉山・沢居 22 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 小向・横浜・佐藤 22 クリーニング師研修 小向他11名 23 「青森しあわせネットワーク」推進会議 福沢 24 相談支援従事者現任研修(26迄) 沢居 27 危険物取扱者講習会 横浜



月	処 遇 ・ 行 事	研 修
8 月	6 利用者との例会 8 ボイラー検査(1号機) 9 消防立入検査(施設) 13 利用者お盆休み(16迄) 23 体重・血圧測定 24 野辺地町議会議員補欠選挙不在者投票 26 青森県障害者スポーツ大会 27 避難訓練	7 障害支援区分認定調査員研修 福沢 22 東北地区セルフ協第1回施設長連絡会議(23迄) 福沢 23 改正個人情報保護法・労務管理セミナー 福沢 30 野辺地町地域福祉活動計画策定委員会 杉山
9 月	6 利用者との例会 26 避難訓練 27 体重・血圧測定	4 東北地区セルフ協第2回施設長連絡会議(5迄) 福沢 5 コミュニティソーシャルワーカー養成研修(基礎1日目) 沢居 6 コミュニティソーシャルワーカー養成研修(基礎2日目) 沢居 12 「青森しあわせネットワーク」新たな取組みに関する説明会 竹内 12 社会福祉施設看護職員研修 高野 13 福祉サービス苦情解決関係者等研修 福沢・杉山 20 メンタルヘルス対策研修 竹内 28 コミュニティソーシャルワーカー養成研修(制度理解) 沢居
10 月	2 総合健診 3 防犯訓練 3 レントゲン検診 4 利用者との例会 20 日帰りバス研修旅行 25 体力・体重・血圧測定 26 避難訓練 31 内科検診・インフルエンザ予防接種	2 第1回野辺地町包括福祉ケア会議 福沢 5 安全運転管理者講習会 辻村 9 青森県保育・障害福祉サービス事業所等認証評価制度説明会 福沢・竹内 17 相談支援従事者初任者研修(18迄) 佐藤 23 社会福祉法人による地域福祉実践研修会 竹内
11 月	6 利用者との例会 8 ボイラー検査(2号機) 22 体重・血圧測定 26 避難訓練	2 コミュニティソーシャルワーカー養成研修(福祉サービス利用) 沢居 3 青森県クリーニング組合青年部東北ブロック研修会 福沢 3 青森県版「ごちゃまぜ師」養成研修 竹内・沢居 7 サービス管理責任者研修 佐藤 14 年末調整説明会 竹内 29 障害者就業・生活支援センターみさわ第2回事業連絡会議 沢居 29 「青森しあわせネットワーク」事例検討会 竹内

月	処 遇 ・ 行 事	研 修
12 月	<p>3 利用者との例会 10 年末大掃除(18 迄) 20 体重・血圧測定 25 クリスマスタ食会 26 避難訓練 28 利用者仕事納め式 29 利用者年末・年始一時帰宅</p>	<p>4 福祉・介護職員処遇改善加算取得促進セミナー 竹内 12 相談支援従事者初任者研修(14迄) 佐藤 22 サービス管理責任者研修(23迄) 佐藤 26 青森県障害者虐待防止・権利擁護 研修会 沢居</p>
1 月	<p>7 利用者仕事始め式 7 利用者との例会 15 新年昼食会 24 体重・血圧測定 28 避難訓練</p>	
2 月	<p>4 利用者との例会 16 室内レクリエーション 22 総合避難訓練 27 内科検診 28 体重・血圧測定</p>	<p>18 上十三地域生活支援広域調整会議 沢居 26 全国セルフ協施設長研修(28迄) 福沢 27 働きやすい福祉の職場づくりに関する制度・事業等説明会 竹内</p>
3 月	<p>4 利用者との例会 26 避難訓練 28 体重・血圧測定 28 施設利用契約説明会</p>	<p>15 野辺地町包括福祉ケア会議 福沢 20 指定障害福祉サービス事業者等集団指導 福沢・竹内 27 保証人問題を考えるセミナー 沢居</p>

## 平成30年度 相談支援事業所 あすなろクリーナース 事業報告

### 1. 計画相談支援実績

#### 【利用実績】

事業所名	相談支援事業所 あすなろクリーナース		
利用対象者	身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病等対象者		
営業日	月曜日～土曜日（1月1日～2日までを除く）		
サービス提供時間	8：30～16：30		
サービスの概要	(1) 指定サービスを利用するための利用計画の作成 (2) 継続してサービスを利用するためのモニタリング計画の作成 (3) 相談支援業務・各種手続き		
平成30年度 利用実績		本年実績	前年実績
	契約者人数	18名	6名
	計画書作成回数	36回	49回
	モニタリング回数	87回	68回

### 2. 市町村相談支援事業、障害支援区分認定調査（委託業務）

野辺地町の定める地域生活支援事業規則及び関係法令に基づいて実施される相談支援事業や障害支援区分認定調査については、町との委託契約により実施した。

#### 【委託事業の内容と実績】

	本年実績	前年実績
相談支援業務	38	34
障害支援区分認定調査	3	4

#### 【平成30年度 相談支援事業活動総評】

今年度は、合計54名の相談支援業務を行った。契約18名（新規2名、変更16名）、継続36名（うち障害児1名）。支援終了3名。

新規利用に加え、七戸町社会福祉協議会の事業廃止や他の相談支援事業所からの事業所変更もあり、昨年度より契約者人数などが大幅に増えた。また引き継ぎの関係上、事業所変更、契約、計画の作成が来年度に持ち越しになっているものがある。

一般相談の依頼は今年度も無かった。

今年度は障害支援区分認定調査、合計3件の調査を行った。

#### 【次年度の課題】

- 相談支援事業所への理解、地域への定着、利用者・保護者との信頼関係の構築。
- 多種多様なニーズや相談がある事から、町内外を問わず各関係機関（市町村や県、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、医療機関、各種団体）との連携を図り、利用者の思いや希望が実現できるよう努める必要がある。
- 障害児、特殊支援学校の卒業生が利用する事も想定される為、学校との連携を深める。
- 介護保険サービスへ移行する可能性も考慮し、居宅介護支援事業所等の介護支援専門員とも連携を取れるようにする。